



地域子育てネットワークだより

令和2年2月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部男女家庭課 電話:(078)341-7711 内線 2798

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html

子育て応援ネット全県大会を開催します！

とき：令和2年2月10日（月）13:30～15:30

ところ：兵庫県公館 大会議室

家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもを育て見守ることが、ますます必要とされているなか、「子育て応援ネット」の活動事例などを交えながら、地域の子育て支援をどのように進めていけばよいのかについて、みんなで考えます。

- ◆ みすまる保育園（神戸市長田区）の園児のみなさんによる合唱
- ◆ 子育て応援ネット活動事例発表 2団体
 - ・多可町青少年問題協議会（北播磨）
 - ・たつの市子育てネットワーク推進協議会（西播磨）
- ◆ 基調講演
「増加する児童虐待の背景と地域で子どもを守るために」
津崎 哲郎 氏（認定NPO法人児童虐待防止協会理事長）

参加無料！



〈お問合せ先〉

兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課家庭応援班

電話：(078)362-4185（直通） / FAX：(078)362-3891 E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

「ひょうご子育て応援の店」 パソコンで会員登録可能に！

県では、企業・店舗等が18歳未満の子どもがいる子育て世帯に割引・特典等のサービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を実施しています。現在約110,000世帯がパスポート会員として県内約4,800店の協賛店から物販、飲食等の際に、サービスを受けています。平成29年4月より、サービスが全国展開になりました。ぜひこの機会にご登録ください。



サービス内容の例 ※各企業・店舗等の企画により特典は異なります。

- ・料金の割引（特定日に割引、ポイント加算、景品プレゼント等）
- ・協賛店が主催する行事への参加（子ども向け行事への参加等）
- ・子ども連れにやさしい設備の利用（プレイルーム、授乳室、ベビーベッドの利用等）

このマーク
が目印!!

★協賛企業・店舗等の検索・サービス内容確認など詳しくは・・・「ひょうご子育て応援の店」ホームページ <http://www.hyogo-kosodate.jp/> 【問合せ先】男女家庭課 078-362-3385

応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動
などで子育て家庭を
応援する「子育て応援
ネット」の各地の取り
組みを紹介します。

まちの子育て ひろばの紹介



子どもは、社会全体の希望であり、未来をつくる存在です。家庭だけでなく、地域・学校・行政等がそれぞれの役割を認識し、子ども・子育て支援は、社会全体で協働して取り組む必要があります。

その一助として高砂市地域子育てネットワークでは、校区や地域単位で、地域住民とともに子育て家庭応援推進員が子どもを見守り、登下校時の声かけによる安全確保を行っています。また、高砂市の子育て家庭応援推進員を対象とした講演会も毎年開催して、新しい知識を得ながら「子どもを守り、育てる」機運を高めています。これからも子育て家庭応援推進員として地域の住民や団体とともに、「地域の子ども」を自分の子どものつもりで、支援活動を行っています。

高砂市地域子育て
支援ネットワーク



平成24年4月に社会福祉法人明照会の事業所内保育室として伊丹市に設立した「あそか苑まあや保育室」では、平成30年4月から、地域の方々に保育室を知って頂くと共に、子育て相談を含め、楽しくふれあいながら遊ぶことを目的とした、ふれあい広場を開催しました。

今年度は、1回目に給食体験、2回目にリトミック体操を実施し、3月には、英語リトミックを予定しています。保護者からは「一緒に活動することで、発達には個人差があることや、お友達と関わることの楽しさを知りました。」等のコメントも多数頂いております。今後も異年齢のお友達とふれあうことで、思いやりの気持ち、豊かな心を育める様々な体験が出来る機会を設け、又、子育ての悩みを話しあったり、一緒に楽しめる交流の場を目指し取り組んでいきたいと思っております。

あそか苑まあや保育室
事業管理者 神武 豊子



連載
第144回

スマホを上手に活用しよう



県立こども病院名誉院長 中村 肇



小学生のスマホ所有率は年々増加し、2018年時点で小学生全体の45.9%がスマホを所持しており、特に、小学校高学年から中学入学にかけて所有率が高くなるようです。

まだ小学三年生の孫娘は、学校から帰り、宿題を済ますと、祖母のiPadを取り上げ、YouTubeです。注意しないと何時間でも観ています。まだ、彼女はキッズ携帯しか持たされていないので、SNSやLINEには興味がなさそうです。やがて、小学校高学年になると、SNSに夢中になるに違いありません。

最近では、子供のスマホで制限できる機能が豊富になっています。子どもに有害なサイトをブロックする「フィルタリング」以外にも、「アプリの利用制限」や「スマホ本体の利用時間帯の制限」「子供のスマホの利用状況のレポート機能」などもあります。

子どもが、スマホ依存症にならないように、ネット上でのトラブルに巻き込まれないようにするには、家族の間でよく話し合った上で、「家族内ルールづくり」をし、買い与えることです。